

黒田研二教授 履歴・社会的活動・研究業績

履 歴

- 1975年3月25日 大阪大学医学部医学科卒業
- 1975年5月1日～1979年3月31日
長浜赤十字病院精神神経科医師
- 1979年4月1日～1980年3月31日
尼崎厚生会立花病院内科医師
- 1980年4月1日～1981年3月31日
大阪大学医学部委員（公衆衛生学講座）
- 1981年4月1日～1981年8月15日
大阪家庭裁判所技官・高等裁判所勤務併任
- 1981年8月16日～1995年3月31日
大阪大学医学部助手、講師、助教授（公衆衛生学講座）
その間、1987年5月11日 医学博士（大阪大学）
- 1995年4月1日～2011年3月31日
大阪府立大学教授（社会福祉学部、2005年4月1日大学法人化に伴う改組により人間社会学部）（その間2003年8月1日～2005年3月31日 社会福祉学部長、2005年4月1日～2009年3月31日 人間社会学部長を併任）
退職に伴い大阪府立大学名誉教授
- 2011年4月1日～2018年3月31日
関西大学教授（人間健康学部）（2018年4月1日 関西大学名誉教授）
- 2018年4月1日～2020年3月31日
関西大学特別契約教授（人間健康学部）

社会的活動

表 彰

- 1991年3月 大阪神経筋難病研究会 木本新吉記念研究奨励賞 対象論文名「パーキンソン病患者の療養の態度がその死亡率に及ぼす影響に関する研究」
- 1994年10月 日本公衆衛生学会 研究奨励賞 受賞業績「難治性疾患患者および高齢者のケアシステムに関する研究と地域保健対策の推進」
- 1996年12月 大阪府立公衆衛生専門学校より表彰状（永年の保健師養成教育への貢献）
- 2004年11月 大阪府医師会 感謝状（府医師会における永年の委員会活動に対する貢献）
- 2008年11月 茨木市長より表彰状（永年にわたる高齢者保健福祉計画策定懇談会等の委員活動による貢献）

2014年11月 大阪府医師会 感謝状（府医師会における永年の委員会活動に対する貢献）

所属学会

日本精神神経学会、日本公衆衛生学会、日本社会福祉学会、日本老年社会科学会、日本社会医学
会、日本在宅ケア学会、日本地域福祉学会、日本認知症ケア学会、日本疫学会、ほか

審議会・委員会等の活動（2019年度現在）

大阪府医師会介護・高齢者福祉委員会（委員長）、箕面市保健医療福祉総合審議会（会長）、大阪
府社会福祉協議会運営適正化委員会（委員長 運営監視小委員長）、大阪府社会福祉協議会研修運
営委員会（委員長）、茨木市地域福祉審議会（会長）、大阪府精神障害者療養環境検討協議会（会
長）、堺市社会福祉審議会（副会長）、堺市地域包括ケアシステム推進審議会（会長）、ほか

研究業績

専門分野 社会精神医学，公衆衛生学，社会福祉学

著書・編著

千代豪昭・黒田研二編著『学生のための医療概論』医学書院，1999年2月

黒田研二・竹内孝仁編著『社会福祉士養成テキストブック16 医学一般』ミネルヴァ書房，2001
年12月

黒田研二監修『在宅介護支援センターによる介護予防・生活支援事例集』，中央法規出版，2002
年6月

黒田研二・藤井博志編集『地域で進める介護予防』中央法規出版，2002年8月

村川浩一・坪山孝・黒田研二・峯村芳樹編著『高齢者福祉論』第一法規，2004年4月

黒田研二・清水弥生・佐瀬美恵子編著『高齢者福祉概説』，明石書店，2005年4月

黒田研二『大阪の精神医療』「堺・南大阪地域学」シリーズ3 大阪公立大学共同出版会，2006年
8月

黒田研二・住居広士編著『MINERVA 社会福祉士養成テキストブック 人体の構造と機能及び疾
病』p59-77，ミネルヴァ書房，2009年6月

黒田研二編集責任，日本在宅ケア学会編 在宅ケア学第5巻『成人・高齢者を支える在宅ケア』ワ
ールドプランニング，2015年7月

黒田研二・狭間香代子・岡田忠克編著『現代社会の福祉実践』関西大学出版会，2017年3月

隅田好美・藤井博志・黒田研二編著『よくわかる地域包括ケア』ミネルヴァ書房，2018年4月

小橋元・近藤克則・黒田研二・千代豪昭編著『学生のための医療概論 第4版』医学書院，2020年
2月

分担執筆

黒田研二：「保健事業のあゆみと展開」「沢内村の保健事業」「福光町の保健事業」「朝倉町の保健
事業」多田羅浩三『市町村の保健事業』p3-34，p91-134，p201-225，p375-405，日本公衆衛

生協会, 1984年

- 黒田研二：「箕面市における保健・医療・福祉」「わが国における在宅ケアの趨勢」「保健センターの移転拡充」多田羅浩三『明日にはばたくライフプラザ計画—箕面市における保健福祉の総合施策の推進に関する研究—』p5-62, p80-91, p116-124, 日本公衆衛生協会, 1989年
- Tatara, K., Kuroda, K. et.al “Trends in use of medical care by the elderly in Japan” Araki, S. Behavioral Medicine: An Integrated Behavioral Approach to Health and Illness. Elsevier Science Publishers, p339-345, 1992
- Tatara, K., Kuroda, K. et.al “A way forward to comprehensive care for the elderly” Orimo, H. Fukuchi, Y., Kuramoto, K., Iriki, M. New Horizons in Aging Science. The Organizing Committee of the Fourth Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology, p330-331, 1992
- 多田羅浩三・黒田研二：「各フィールドの研究成果についての総括」財団法人骨粗鬆症財団編『地域における骨粗鬆症予防検診の評価と課題』p7-13, 新企画出版社, 1996年3月
- 黒田研二：「高齢者のコミュニティケアとケアマネジメント」松原一郎編著『高齢者ケアの社会政策学』p35-59, 中央法規出版, 1996年9月
- 黒田研二：「第1章 地域精神保健福祉の展開とケアマネジメント」「第2章 精神保健福祉施策の動向」公衆衛生精神保健研究会編『ケアマネジメントと地域生活支援—精神保健福祉の新たな展開』p1-16, p17-36, 中央法規出版, 1998年2月
- 黒田研二：「第5講 健康と医療」「第7講 老化の生理的、病理的变化」「第8講 精神・心理機能の変化」大友信勝編『講座 私たちの暮らしと社会福祉 第3巻 高齢者の生活と福祉 高齢者福祉入門』p74-89, p108-126, p127-142, 中央法規出版, 1999年10月
- 黒田研二：「第3部 第4章 高齢者福祉と社会福祉の方法・技術」太田義弘編『ソーシャルワーク実践と支援過程の展開』p250-269, 中央法規出版, 1999年12月
- 黒田研二：「社会福祉士としての医学」社団法人日本社会福祉士養成校協会監修『社会福祉士のための基礎知識Ⅲ』p193-198, 中央法規出版, 2003年12月
- 黒田研二：「施設における利用者の権利擁護の具体的展開」大國美智子・久岡英樹編著『高齢者の権利擁護』p179-199, ワールドプランニング, 2004年4月
- 黒田研二：「諸外国における高齢者虐待への取り組み」高齢者虐待防止研究会編集『高齢者虐待に挑む』p34-50, 中央法規出版, 2004年7月
- 黒田研二：「難病対策」金澤一郎・北原光夫・山口徹・小股政男 総編集『内科学Ⅰ』p21-23, 医学書院, 2006年10月
- 黒田研二：「高齢期の身体機能と介護予防」栃本一三郎・浅野仁『高齢期を支える社会福祉システム』p29-43, 日本放送出版協会, 2007年4月
- 黒田研二：「ホームレス問題が社会に問いかけるもの」高田敏・桑原洋子・逢坂隆子編『ホームレス研究 釜ヶ崎からの発信』p188-202, 信山社, 2007年7月
- 黒田研二：「プライマリケア」「精神障害者の在宅ケア」在宅ケア学会監修『在宅ケア辞典』p134-135, p436-439, 中央法規出版, 2007年12月
- Kuroda, K. “Population Ageing and the Long-term Care Insurance System in Japan” Brigitte Lestrade. Cultures Criusees Japon-France. L’Harmattan (Paris), p25-31, 2008
- Kuroda, K. “Regional Studies in Japan and the Sakai and Southern Osaka Regional Study” Brigitte Lestrade. Cultures Criusees Japon-France. L’Harmattan (Paris), p115-124, 2008

- 黒田研二・青木慎一郎：「第3章 保健医療と介護福祉士」住居広士編『介護福祉士養成テキストブック 13 こころとからだのしくみ』p59-77, ミネルヴァ書房, 2009年3月
- 黒田研二・山野則子：「第8章 ソーシャルワーク開発研究がめざすもの—スクールソーシャルワーク、高齢者ソーシャルワークを事例として—」大阪府立大学21世紀科学研究機構編『大阪府立大学における分野横断型研究の展開—21世紀科学研究所の挑戦』p119-137, 大阪公立大学共同出版会, 2010年3月
- 黒田研二：「第1編 反差別人権擁護活動 第5章 高齢者」(社)部落解放・人権研究所編『人権年鑑 2011』p24-27, 解放出版社, 2011年3月
- 黒田研二：「第3部 暮らしと健康 第3章健康は基本の人権とどう関わるか」竹内洋監修『現代人にとって健康とはなにか』p184-196, 書肆クラルテ, 2011年4月
- 黒田研二・藤田健三：「行政による退院促進支援事業」井上新平他編『精神科退院支援ハンドブック ガイドラインと実践的アプローチ』p163-176, 医学書院, 2011年5月

翻訳

- 黒田研二：「第7章 かかわりを持続する」公衆衛生精神保健研究会 訳『コミュニティメンタルヘルス 新しい地域精神保健活動の理論と実際』p108-124, 中央法規出版, 1992年

論文

1980年

- 黒田研二：「大都市における精神科患者の地理的分布の生態学的研究」社会精神医学, 3, 273-279, 1980
- 黒田研二・他：「民間療法の実態—スモン患者を中心として—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和54年度研究業績, 248-256, 1980
- 芝池伸彰・黒田研二：「キノホルム非服用および少量服用スモン例の疫学的検討」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和54年度研究業績, 241-247, 1980
- 黒田研二・他：「保健所をベースにした難病患者の在宅ケア—保健所での試み—」大阪難病医療問題研究会昭和54年度研究結果報告書, 1-18, 1980

1981年

- 黒田研二・他：「スモン患者と民間療法」日本医事新報, 2975, 46-50, 1981
- 黒田研二・他：「鍼灸マッサージ医療の実態」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和55年度研究業績, 338-348, 1981
- 日山與彦・黒田研二・他：「スモン患者の追跡調査—スモン患者の死因の分析—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和55年度研究業績, 257-265, 1981
- 芝池伸彰・黒田研二・他：「キノホルム非服用および少量服用スモン例の疫学的検討」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和55年度研究業績, 266-272, 1981
- 小川定男・黒田研二・他：「在宅ケアと病院機能」大阪難病医療問題研究会昭和55年度研究結果報告書, 160-165, 1981
- 芝池伸彰・黒田研二・他：「難病患者の在宅ケア—3保健所でのとりくみ—」大阪難病医療問題研究会昭和55年度研究結果報告書, 3-13, 1981

1982年

- 黒田研二・他：「医師からみた鍼灸治療とその評価—スモンの治療と関連して—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和56年度研究業績，500-510，1982
- 日山與彦・黒田研二・他：「スモン患者の追跡調査（Ⅱ）—スモン患者の死因の解析—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和56年度研究業績，396-403，1982
- 黒田研二・他：「裁判資料によるスモン患者のキノホルム服用歴の検討」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和56年度研究業績，355-361，1982
- 黒田研二・他：「医療ヘルパーおよびホームヘルパーに関する実態調査—難病患者の地域ケアシステムを考える—」昭和56年度特定疾患調査研究結果報告書，難41-48，1982
- 小川定男・黒田研二・他：「難病患者の在宅ケアと病院機能」昭和56年度特定疾患調査研究結果報告書，神73-75，1982
- 芝池伸彰・黒田研二・他：「大阪府下3保健所における難病患者の在宅ケアへのとりくみ」昭和56年度特定疾患調査研究結果報告書，難1-16，1982

1983年

- 朝倉新太郎・黒田研二・他：「大阪府におけるスモン患者の受療の実態と在宅ケアの現状」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和57年度研究業績，274-278，1983
- 黒田研二・他：「神経難病患者の家庭介護と病院機能」昭和57年度特定疾患調査研究結果報告書，神87-93，1983
- 黒田研二・他：「家庭奉仕員による難病患者ケアの現状」昭和57年度特定疾患調査研究結果報告書，難25-23，1983
- 芝池伸彰・黒田研二・他：「大阪府保健所における難病患者援助活動の現状」昭和57年度特定疾患調査研究結果報告書，難3-12，1983

1984年

- 黒田研二・他：「精神科入院患者の在院期間と関連する諸因子」日本公衆衛生雑誌，31，241-249，1984
- 朝倉新太郎・黒田研二・他：「スモン患者の在宅ケアにおける保健婦とホームヘルパーの役割」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和58年度研究業績，345-349，1984
- 黒田研二・他：「大阪府下神経難病専門施設における神経筋難病患者の入院医療の現状」昭和58年度特定疾患調査研究結果報告書，神72-77，1984
- 黒田研二・他：「大阪府下神経難病専門施設の診療圏と諸特性」昭和58年度特定疾患調査研究結果報告書，難3-13，1984
- 黒田研二・他：「吹田市における難病患者の動態—情報源別にみた申請患者の特性の相違について—」昭和58年度特定疾患調査研究結果報告書，難22-26，1984
- 新庄文明・黒田研二・他：「難病患者の在宅療養の実情—パーキンソン病患者の医療と生活に関する調査から—」昭和58年度特定疾患調査研究結果報告書，難14-21，1984

1985年

- 朝倉新太郎・黒田研二・他：「他の神経難病患者と比較したスモン患者の受療の特徴」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和59年度研究業績，340-346，1985
- 朝倉新太郎・黒田研二・他：「在宅ケアにおける日常生活用具給付事業」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和59年度研究業績，369-376，1985

- 黒田研二・他：「大阪府下神経難病専門施設における神経筋難病患者の入院医療の現状—第2報：昭和57・58年入院取扱患者の調査—」昭和59年度特定疾患調査研究結果報告書，神80-86，1985
- 黒田研二・他：「神経筋難病患者の受療パターン」昭和59年度特定疾患調査研究結果報告書，難34-44，1985
- 黒田研二・他：「パーキンソン病およびスモン患者の在宅療養の現状と問題点」昭和59年度特定疾患調査研究結果報告書，難45-55，1985
- 藤林千春・黒田研二・他：「日常生活用具給付事業の現状と問題点」昭和59年度特定疾患調査研究結果報告書，難56-71，1985

1986年

- 藤林千春・黒田研二：「在宅福祉サービスとしての日常生活用具給付事業」老年社会科学，9，50-61，1986
- 黒田研二・他：「保健所保健婦による難病患者訪問援助の現状と課題—大阪府保健所および大阪市保健所の比較—」日本公衆衛生雑誌，33，123-130，1986
- 黒田研二：「難病患者の地域ケアと保健所の役割」公衆衛生，50，481-485，1986
- 黒田研二・他：「中年期および老年期自殺死亡率の都道府県格差と関連する要因」老年社会科学，8，36-49，1986
- 黒田研二・他「大阪府内の精神病院の諸特性と平均在院日数」社会精神医学，9，399-404，1986
- 朝倉新太郎・黒田研二：「他の神経難病患者と比較したスモン患者の受療の特徴—第2報：日常生活動作能力との関連において—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和60年度研究業績，467-472，1986
- 朝倉新太郎・黒田研二：「高齢スモン患者の在宅ケアについて」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和60年度研究業績，550-555，1986
- 朝倉新太郎・黒田研二：「スモンの地域ケアと福祉制度の利用」厚生省特定疾患スモン調査研究班スモンの現状と治療の手引き，28-39，1986
- 黒田研二・他：「大阪府における特定疾患患者の受療実態—昭和59年度医療費援助申請患者の分析—」昭和60年度特定疾患調査研究結果報告書，難99-109，1986
- 黒田研二・他：「神経筋難病患者の受療実態に関する調査—第3報：入院医療の退院後の受療実態について—」昭和60年度特定疾患調査研究結果報告書，神83-91，1986
- 藤林千春・黒田研二：「在宅福祉サービスとしての日常生活用具給付事業」昭和60年度特定疾患調査研究結果報告書，難91-98，1986

1987年

- 多田羅浩三・黒田研二・他：「大阪府S市国民健康保険患者の在院日数の推移に関する分析」日本衛生学雑誌，42，618-632，1987
- 多田羅浩三・黒田研二・他：「在宅ねたきり患者の疾病、診療、介護の特性に関する研究」日本公衆衛生雑誌，34，605-614，1987
- 黒田研二・他：「一般開業医による難病診療の役割と課題」日本公衆衛生雑誌，34，145-152，1987
- 黒田研二：「精神病院在院患者の退院動態ならびに退院後の医療の継続に影響を及ぼす社会的要因に関する研究」大阪大学医学雑誌，39，429-442，1987
- 黒田研二：「大都市における精神病院群の生態学的構造」法学セミナー増刊総合特集シリーズ37

これからの精神医療, 134-142, 1987

黒田研二・他：「難病患者の地域ケアにおける保健所の役割と課題」昭和61年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪府衛生部），難1-8, 1987

朝倉新太郎・黒田研二・他：「北海道、東京都大阪府におけるスモンを含む難病患者の地域ケアの現状と問題点」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和61年度研究報告書，547-552, 1987

朝倉新太郎・黒田研二：「吹田市域におけるスモンおよび神経難病患者訪問調査—保健婦による地域ケアニーズのアセスメント—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和61年度研究報告書，557-562, 1987

高橋光雄・黒田研二・他：「吹田市域におけるスモンおよび神経難病の地域医療ケアシステムモデルの検討」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和61年度研究報告書，553-556, 1987

黒田研二・他：「神経難病相談会の意義と今後の課題」昭和61年度特定疾患調査研究結果報告書，神81-86, 1987

黒田研二・他：「吹田市における一人暮らし高齢者の生活と福祉に関する調査報告書」吹田市社会福祉協議会，1-88, 1987

1988年

多田羅浩三・黒田研二・他：「保健所型別にみた保健事業の実績と人口当たりの保健婦数の相関関係に関する研究」日本公衆衛生雑誌，35, 115-123, 1988

黒田研二・他：「大阪におけるスモン及び神経難病医療福祉相談会の実施とその意義について」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和62年度研究報告書，593-597, 1988

高橋光雄・黒田研二・他：「大阪におけるスモン地域医療ケアシステム」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和62年度研究報告書，589-592, 1988

高杉豊・黒田研二・他：「大阪府下重度スモン及び神経難病患者における医療介護の実情」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和62年度研究報告書，598-602, 1988

日山與彦・黒田研二：「スモン患者の予後調査」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和62年度研究報告書，323-356, 1988

黒田研二・他：「神経難病相談会の開催とその意義について」昭和62年度特定疾患調査研究結果報告書，神81-86, 1988

黒田研二・他：「パーキンソン病患者の予後に影響を与える要因」昭和62年度特定疾患調査研究結果報告書，難51-57, 1988

黒田研二・他：「在宅人工呼吸を実施している難病患者の事例研究—在宅療養を成立させる条件をめぐって—」昭和62年度特定疾患調査研究結果報告書，難58-65, 1988

1989年

黒田研二：「在宅ケアの技術と役割」公衆衛生，53, 733-738, 1989

中西範幸・黒田研二・他：「脳卒中退院患者の特性に関する研究」日本公衆衛生雑誌，36, 229-226, 1989

黒田研二：「都市での精神科医療のあり方」新医療，15（7），36-38, 1989

黒田研二・他：「スモン及び難病に関する開業医の診療の現状と意識—大阪府吹田市における調査—」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和63年度研究報告書，504-509, 1989

日山與彦・黒田研二・他：「スモン患者の死因に関する研究」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和63年度研究報告書，223-226, 1989

- 高橋光雄・黒田研二・他：「近畿地区におけるスモン地域医療システムの調査研究」厚生省特定疾患スモン調査研究班昭和63年度研究報告書，481-486，1989
- 黒田研二・他：「パーキンソン病の予後に関する研究」昭和63年度特定疾患調査研究結果報告書，神80-85，1989
- 黒田研二・他：「大阪府における筋萎縮性側索硬化症患者の療養の実態」昭和63年度特定疾患調査研究結果報告書，難13-18，1989
- 黒田研二・他：「パーキンソン病の重症度と関連する要因——パーキンソン病友の会全国調査より——」昭和63年度特定疾患調査研究結果報告書，難19-23，1989

1990年

- 中西範幸・黒田研二・他：「後期高齢者の入院医療の動向に関する研究」日本公衆衛生雑誌，37，610-619，1990
- 高鳥毛敏雄・黒田研二・他：「老人の入院および在宅ケアに関連する要因に関する研究」日本公衆衛生雑誌，37，255-262，1990
- 津村智恵子・黒田研二：「訪問看護事業の課題と保健婦、訪問看護婦、ホームヘルパーの役割——大阪府下の訪問看護モデル事業より——」大阪府立看護短期大学紀要，12(2)，17-22，1990
- 黒田研二：「デンマークの高齢者福祉施策から学ぶもの(上)」大阪公衆衛生，58，2-6，1990
- 黒田研二・他：「パーキンソン病患者の療養の態度がその死亡率に及ぼす影響に関する研究」日本公衆衛生雑誌，37，333-339，1990
- 黒田研二・他：「パーキンソン病患者における機能低下予防のための運動実施と重症度との関連」老年社会科学，168-181，12，1990
- 朝倉新太郎・黒田研二：「大阪難病医療問題研究会」特定疾患調査研究15周年記念誌，1-27，1990
- 新庄文明・黒田研二・他：「成人の歯周疾患に対する歯科保健管理の効果に関する研究」日本公衆衛生雑誌，37，551-558，1990
- 多田羅浩三・黒田研二・他：「老人保健事業が老人入院医療に及ぼす影響に関する研究」厚生の指標，37(4)，23-30，1990
- 黒田研二・他：「神経難病相談会に來所したスモン患者の医療・福祉ニーズ」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成元年度研究報告書，513-517，1990
- 黒田研二・他：「ALS患者によるコミュニケーション機器活用の試みとその評価」平成元年度特定疾患調査研究結果報告書，神73-78，1990
- 黒田研二・他：「都道府県の難病に関する医療計画について」平成元年度特定疾患調査研究結果報告書，難21-25，1990
- 黒田研二・他：「筋萎縮性側索硬化症患者による意志伝達装置の利用とその評価」平成元年度特定疾患調査研究結果報告書，神78-84，1990
- 黒田研二・他：「箕面市における在宅福祉サービスのあり方に関する調査研究」箕面市在宅福祉推進研究会議，1-158，1990
- 右田紀久恵・黒田研二・他：「精神薄弱者(児)等問題検討委員会報告書——障害をもつ人の全人的復権をめざして——」精神薄弱者(児)等問題検討委員会(枚方市社会福祉協議会)，1-229，1990

1991年

- 津村智恵子・黒田研二：「訪問ケアと看護・介護職の需要の推計」大阪府立看護短期大学紀要，13

(1), 83-88, 1991

黒田研二：「デンマークの高齢者福祉施策から学ぶもの（下）」大阪公衆衛生, 59, 2-6, 1991

黒田研二・他：「老人精神保健活動における保健婦活動の評価に関する研究」日本公衆衛生雑誌, 38, 100-109, 1991

Tatara, K., Kuroda, K. et.al Relation between use of health check-ups starting in middle age and demand for inpatients care by the elderly people in Japan, *British Medical Journal*, 302, 615-618, 1991

黒田研二：「スモンの医療とケア—研究班のこれからの取り組み—」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成2年度研究報告書, 522-525, 1991

黒田研二・他：「スモン患者の支援システムに関する研究」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成2年度研究報告書, 449-453, 1991

日山與彦・黒田研二：「スモン患者の追跡調査」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成2年度研究報告書, 223-226, 1991

黒田研二・他：「膠原病患者のセルフケアの現状とその関連因子」平成2年度特定疾患調査研究結果報告書, 難 22-30, 1991

黒田研二・他：「箕面市における脳卒中入院患者の現状—老人医療診療報酬明細書の分析」脳卒中発症動向調査平成2年度調査研究報告書, 24-30, 1991

黒田研二・他：「脳卒中の死亡率および死亡の特性に関する研究—箕面市における死亡票の分析」脳卒中発症動向調査平成2年度調査研究報告書, 31-37, 1991

1992年

黒田研二・他：「在宅要介護老人、病院長期入院老人、特別養護老人ホーム入所者の特性に関する比較研究」日本公衆衛生雑誌, 39, 215-222, 1992

黒田研二・他：「老人患者の入院長期化に影響を及ぼす要因に関する研究—尿道カテーテルの使用を中心に」日本衛生学雑誌, 47, 843-850, 1992

Kuroda, K. et.al: Factors related to long-term stay in hospital by the elderly in a Japanese city, *Age and Ageing*, 21, 321-327, 1992

黒田研二・他：「要介護老人の処遇場所に影響を及ぼす因子に関する研究」社会医学研究, 11, 45-52, 1992

Nishi, N., Kuroda, K. et.al: Relationship of site of infarction and history of previous infarction with short- and long-term prognosis after acute myocardial infarction in Japan, *Acta Neurol Scand*, 86, 55-59, 1992

黒田研二・他：「スモン患者の主観的幸福感と関連する因子—異常知覚と関連を中心に—」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成3年度研究報告書, 498-503, 1992

高橋光雄・黒田研二・他：「平成3年度における近畿南地区スモン検診とその問題点」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成3年度研究報告書, 491-497, 1992

日山與彦・黒田研二：「大阪府におけるスモン患者の死亡およびがん罹患」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成3年度研究報告書, 359-362, 1992

黒田研二・他：「大阪神経難病医療福祉相談会の経過とその意義」平成3年度特定疾患調査研究結果報告書, 神 85-90, 1992

黒田研二・他：「患者団体によるコミュニケーション機器利用の支援活動」平成3年度特定疾患調査研究結果報告書, 難 46-51, 1992

- 中村裕美子・黒田研二：「SLE患者の闘病のプロセスとサポートに関する研究」平成3年度特定疾患調査研究結果報告書，難36-45，1992
- 黒田研二・他：「箕面市における脳卒中の救急搬送患者と死亡者に関する調査」脳卒中患者の疫学特性に関する調査平成3年度研究報告書，41-51，1992
- 黒田研二・他：「大阪府N市における脳血管疾患患者の全数調査—外来、入院、入所別にみた患者特性の比較—」脳卒中患者の疫学特性に関する調査平成3年度研究報告書，52-62，1992
- 西信雄・黒田研二：「脳血管疾患患者受診者のADLと発症前健康管理状況との関連」脳卒中患者の疫学特性に関する調査平成3年度研究報告書，63-69，1992

1993年

- Kuroda, K. et al. Effect of physical exercise on mortality in patients with Parkinson's disease. *Acta Neurol Scand*, 86, 207-223, 1993
- Tatara, K., Kuroda, K. et al: Main trends in hospital use in different cities in Japan, *Medical Care*, 31, 335-343, 1993
- Zhao, L., Kuroda, K. et.al: Relationship between mortality of frail elderly at home and housing condition, *J Epidemiology Community Health*, 47, 298-302, 1993
- 黒田研二：「在宅ケアの動向」治療学，27，755-759，1993
- 黒田研二・他：「スモン患者の主観的幸福感および活動能力とその関連要因に関する研究」日本保健医療行動科学会会報，8，207-223，1993
- 黒田研二：「精神保健行政の環境変化と家族会—医療法、精神保健法、保健所法の改正と精神保健対策—」REVIEW，6，8-11，1993
- 黒田研二：「スモン患者による保健・福祉サービスの利用について」スモン研究の現状と今後の課題（厚生省特定疾患スモン調査研究班平成4年度研究報告書補遺），144-149，1993
- 黒田研二・他：「スモン患者の社会活動能力とその関連因子」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成4年度研究報告書，377-382，1993
- 高橋光雄・黒田研二・他：「近畿南地区スモン患者検診5年間の総括」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成4年度研究報告書，557-563，1993
- 黒田研二・他：「筋萎縮性側索硬化症患者の療養の現状—患者会会員の調査—」平成4年度特定疾患調査研究結果報告書，神58-63，1993
- 黒田研二・他：「府立病院、堺地区、大阪市における神経難病医療福祉相談会来所者の相談ニーズ」平成4年度特定疾患調査研究結果報告書，難1-7，1993
- 黒田研二（研究代表者）：「要介護老人のケアの形態を規定する要因ならびに長期ケアニーズの評価に関する研究」平成3年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書，1-53，1993

1994年

- 黒田研二・他：「江戸川区「すこやか住い助成事業」の実績と効果に関する研究」日本公衆衛生雑誌，41，404-414，1994
- 黒田研二・他：「骨粗鬆症—生活の中での予防戦略」公衆衛生，58（6），406-409，1994
- 黒田研二・他：「老人の死生観とその関連要因」老年社会科学，15（2），166-174，1994
- 黒田研二・他：「外来受診中の精神分裂病患者のリハビリテーション・ニーズに関する全国調査」精神神経学雑誌，96，70-75，1994
- 黒田研二：「ケースマネージメントはなぜ必要か—高齢者と精神障害者のケースマネージメント

の特徴—」地域保健, 25 (10), 11-20, 1994

黒田研二・他:「スモン患者の症状の悪化に影響する要因」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成5年度研究報告書, 140-145, 1994

黒田研二・他:「筋萎縮性側索硬化症患者の生命予後に関する研究」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成5年度研究報告, 1994

黒田研二・他:「運動ニューロン疾患における人工呼吸器の使用状況と今後の課題」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成5年度研究報告, 1994

黒田研二・他:「大阪府保健所における難病患者への集団援助活動」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成5年度研究報告, 1994

黒田研二・他:「骨粗鬆症検診の実施地域における成果等の検討」骨粗鬆症に関する寝たきりの実態とその予防方策に関する研究—骨粗鬆症検診の有効性に関する研究—事業報告, 95-119, 1994

多田羅浩三・黒田研二:「集団検診における骨密度測定のための今後の課題」骨粗鬆症に関する寝たきりの実態とその予防方策に関する研究—骨粗鬆症検診の有効性に関する研究—事業報告, 120-127, 1994

黒田研二・他:「パーキンソン病患者の保健福祉サービスの利用に関する分析」平成5年度特定疾患調査研究結果報告書, 難 98-104, 1994

1995年

黒田研二・他:「大阪神経難病医療福祉相談会の実績とその意義の検討」公衆衛生, 59 (1), 71-75, 1995.1

黒田研二:「神経難病の実態を統計から分析する」総合臨床, 44 (11), 2529-2534, 1995.11

豊浦保子・黒田研二・他:「筋萎縮性側索硬化症患者の療養の現状と課題」公衆衛生, 59 (2), 145-148, 1995.2

黒田研二:「大阪府の難病ケアシステムとスモン患者の支援」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成6年度研究報告書, 432-433, 1995.3

黒田研二・他:「スモン患者の生命予後に関する研究—後遺症の程度、日常生活動作との関連を中心に」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成6年度研究報告書, 291-294, 1995.3

黒田研二・他:「難病の地域医療保健活動の実績と課題」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成6年度研究報告, 340-344, 1995.3

黒田研二・他:「保健所の難病疾患患者支援事業の効果に関する研究—パーキンソン病患者における分析」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成6年度研究報告, 161-164, 1995.3

黒田研二・他:「筋萎縮性側索硬化症に関する専門医師、保健婦の意識調査」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成6年度研究報告, 165-169, 1995.3

黒田研二・他:「パーキンソン病患者の重症度および療養姿勢とその関連因子」平成6年度特定疾患調査研究結果報告書(大阪難病医療問題研究会), 難 98-103, 1995.3

中村裕美子・黒田研二・他:「神経難病患者の闘病意欲に影響を及ぼす因子—保健所による援助活動の今後の方向性」平成6年度特定疾患調査研究結果報告書(大阪難病医療問題研究会), 難 89-97, 1995.3

豊浦保子・黒田研二・他:「阪神大震災で被災された在宅人工呼吸 ALS 患者への支援」平成6年

度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会），難70-73，1995.3

黒田研二・他：「パーキンソン病患者に対する保健所の支援事業の意義と効果」平成6年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会），神19-24，1995.3

黒田研二：「地域保健法と保健所の役割」少子・高齢社会における社会基盤の創生に関する調査研究報告書，（財）兵庫県長寿社会研究機構 長寿社会研究所，9-31，1995.3

1996年

北島謙吾・黒田研二・他：「精神障害者の社会生活機能と社会参加に関する研究—保健所のリハビリテーション・グループワーク活動参加者の1年間の追跡を通して—」日本公衆衛生雑誌，43（2），111-117，1996.2

黒田研二・多田羅浩三・他：「スモン患者の生命予後に影響する患者特性に関する研究」日本公衆衛生雑誌，43（3），231-237，1996.3

黒田研二：「脳卒中後遺症者の日常生活動作能力の低下をもたらす社会的要因に関する研究」社会問題研究，45（2），81-96，1996.3

黒田研二：「保健・福祉分野における「分権」と専門職確保」住民と自治，398，24-27，1996.6

黒田研二：「医療におけるコミュニケーションの課題—支援活動と社会的制度—」メンタルケア，1，23-29，1996.6

黒田研二：「医療機関・施設における介護の国際比較」病院，55（10），949-954，1996.10

黒田研二：「大阪府下の在宅介護支援センターの現状と課題—実態調査をふまえて—」大阪の住民と自治，特集第17号（通巻第215号），8-11，1996.10

黒田研二：「精神障害者とともに生きる地域をめざして」社会問題研究，46（1），55-77，1996.12

Ida O., Tataru, K., Fujiwara, H., Takashima, Y., Kuroda, K.: Percentage of elderly and the welfare services at city welfare offices in Japan, *Social Science and Medicine*, 43 (11), 1527-1532, 1996

黒田研二・高橋光雄・他：「スモン患者の支援ニーズの推移に関する研究」厚生省特定疾患スモン調査研究班平成7年度研究報告書，410-413，1996.3

黒田研二・澤田甚一・他：「大阪府における難病ケアシステムの現状と課題（その1）—訪問看護ステーション、医療ソーシャルワーカーへのアンケート調査から—」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成7年度研究報告，105-108，1996.3

黒田研二・澤田甚一・他：「大阪府における難病ケアシステムの現状と課題（その2）—開業医師へのアンケート調査から—」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成7年度研究報告，109-113，1996.3

黒田研二・豊浦保子・他：「ALS患者のケアにおける患者会の活動とその意義」厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成7年度研究報告，114-116，1996.3

黒田研二：「大阪府内の保健所における難病患者支援事業の現状」平成7年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会），神89-95，1996.3

黒田研二・多田羅浩三・他：「難病患者の訪問看護ニーズ—要介護老人、身体障害者、神経難病患者に関する調査」平成7年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会），難70-77，1996.3

黒田研二：「高齢社会におけるケアの社会化—新介護システムを中心に—」大阪自治センター大阪自治通信，49-83，1996.6

1997年

- 吉田久美子・南好子・黒田研二：「要介護高齢者の介護者の負担感とその関連要因」社会医学研究, 15, 7-13, 1997
- 黒田研二・他：「外来受診中の精神分裂病患者の生活を支える社会的サービスの必要量の全国集計—日本精神神経学会・社会復帰問題委員会の全国調査から」精神神経学雑誌, 99 (2), 79-90, 1997
- 岩石眞須子・黒田研二：「神経難病患者のQOLとその関連要因」平成8年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会）, 難 11-19, 1997.3
- 豊浦保子・黒田研二・他：「筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者における社会資源利用の現状」平成8年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会）, 難 62-65, 1997.3
- 水町真知子・黒田研二・他：「筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の療養の現状とその推移」平成8年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会）, 神 71-74, 1997.3

1998年

- 黒田研二：「講座 地域保健の到達レベル 難病対策」Monthly 保健センター, 424, 10-1, 1998.5
- 黒田研二：「介護保険制度下における ALS 患者の療養環境」難病情報通信（大阪難病医療情報センター）, 14, 1-4, 1998.10
- 黒田研二：「フィンランドの医療と高齢者福祉—トウルク市とその周辺自治体の現状」社会問題研究, 48 (1), 1-2, 1998.12
- 黒田研二・他：「筋萎縮性側索硬化症の在宅患者における医療および福祉サービスの利用に関する事例研究」平成9年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会）, 神 79-87, 1998
- 黒田研二・他：「大阪府内のパーキンソン病患者の療養の現状と保健所の支援活動」平成9年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会）, 難 21-25, 1998
- 黒田研二（研究代表者）：「パーキンソン病等の神経難病に対する保健所における支援活動の評価に関する研究」平成7年度～平成9年度科学研究補助金（基礎研究（C））研究成果報告書, 1998
- 黒田研二・他：「介護を要する高齢者とその介護者の健康の保持・増進に関する研究」大阪ガスグループ福祉財団研究・調査報告集, 11, 53-62, 1998

1999年

- 黒田研二：「薬物依存症への対応—世界的な流れ—」公衆衛生, 63 (2), 106-111, 1999.2
- 白井キミカ・黒田研二：「在宅での高齢者虐待をもたらす要因について—諸外国および日本における研究のレビュー」社会問題研究, 48 (2), 75-101, 1999.3
- 黒田研二・樋田精一・他：「長期入院患者の退院可能性とリハビリテーションニーズに関する調査：調査結果の速報」精神神経学雑誌, 101 (9), 762-776, 1999.9
- 黒田研二：「高齢者入所施設におけるサービスの質の確保—社会福祉基礎構造改革における議論の検討」社会問題研究, 49 (1), 1-20, 1999.12
- 黒田研二・馬場寛・他：「高齢者長期ケア政策の動向と実績に関するスウェーデン、英国、日本の比較研究」社会問題研究, 49 (1), 45-67, 1999.12
- 黒田研二：「精神病院長期在院患者をめぐる問題」病院・地域精神医学, 42 (4), 26-31, 1999.12
- 黒田研二・多田羅浩三・他：「パーキンソン病患者における保健所難病事業の利用とその意義」平成10年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会）, 難 25-30, 1999.3

黒田研二・澤田甚一・他：「パーキンソン病患者の療養姿勢に影響を及ぼす要因」平成10年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会），神57-59，1999.3

黒田研二：「市民ぐるみで安心できる介護保障制度をつくろう」地域研究，12，8-17，1999.11
（1999年7月10日尼崎市における介護保険シンポジウムにおける基調講演を収録）

2000年

黒田研二・白井キミカ・津村智恵子：「在宅要介護者への不適切対応をもたらす要因に関する研究」社会問題研究，49（2），129-142，2000.3

黒田研二：「精神分裂病の呼称変更にむけて—ケアマネジメントの立場から—」精神神経学雑誌，102（10），975-982，2000.10

黒田研二：「介護保険の利点と欠点」介護保険専門員，2（6），23-25，2000.11

黒田研二・水町真知子・他：「介護保険制度導入に伴う筋萎縮性側索硬化症患者の療養条件の変化とそれへの対応」平成11年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会），神55-59，2000.3

黒田研二・豊浦保子・他：「介護保険制度下での筋萎縮性側索硬化症患者の在宅ケア」平成11年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会），難45-50，2000.3

2001年

黒田研二：「スティグマの克服に向けて—大阪府精神保健福祉審議会における議論を中心に—」社会問題研究，50（2），87-119，2001.3

黒田研二：「スウェーデンにおける精神医療のエーデル改革—ストックホルム市の精神障害者支援サービス—」社会問題研究，50（2），121-144，2001.3

黒田研二：「地域リハビリテーションをめぐる諸概念および関連施策の動向」社会問題研究，51（1.2合併），313-329，2001.3

黒田研二・上原ます子：「介護保険の課題と展望—諸外国と日本の介護保障制度の比較より—」日本在宅ケア学会誌，5（1），9-11，2001.12

隅田好美・黒田研二・他：「入院・在宅別にみたALS患者の療養の現状—日本ALS協会近畿ブロックの調査—」平成12年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪神経筋難病研究会），神58-63，2001.3

隅田好美・黒田研二・他：「在宅ALS患者における介護保険制度の満足度」平成12年度特定疾患調査研究結果報告書（大阪難病医療問題研究会），難9-13，2001.3

隅田好美・黒田研二・他：「ALS患者における療養の現状と問題点」癌と化学療法，28（Supplement I増刊号），77-80，2001

2002年

黒田研二：「精神障害者のケアマネジメントとホームヘルプ」日本精神科病院協会雑誌，21（3），45-49，2002.3

隅田好美・黒田研二：「筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の口腔ケアの現状」日本在宅ケア学会誌，5（3），69-74，2002.3

隅田好美・黒田研二：「高齢者における日常生活自立度低下の予防に関する研究（第1報）—日常生活関連動作に関連する要因—」厚生の指標，49（8），8-13，2002.8

黒田研二・隅田好美：「高齢者における日常生活自立度低下の予防に関する研究（第2報）—抑うつに関連する要因—」厚生の指標，49（8），14-19，2002.8

隅田好美・黒田研二・他：「在宅 ALS 患者の現状 ― 介護負担と介護保険の満足度 ―」日本難病看護学会誌, 6 (2), 153-156, 2002

黒田研二・他：「社会福祉法人の新しいミッション・活動を求めて ― ドイツの民間福祉団体ディアコニーの調査を通して ―」近畿老人福祉施設協議会・大阪府社会福祉協議会老人施設部会, 1-74, 2002.7

2003 年

黒田研二：「ドイツ介護保険制度と社会福祉法人のミッションについて」社会問題研究, 52 (2), 53-72, 2003.1

黒田研二：「日本の高齢者住宅政策」老年社会科学, 25 (1), 7-13, 2003.4

逢坂隆子・坂井芳夫・黒田研二・的場梁次：「大阪市におけるホームレス者の死亡」日本公衆衛生雑誌, 50 (8), 686-696, 2003.8

黒田研二：「ICF の枠組みで考える在宅高齢者の抑うつ予防」生活教育, 47 (9), 43-49, 2003.9

黒田研二：「社会福祉が産業界に求めるもの」堺商工会議所報, 644, 2-4, 2003.6

黒田研二：「痴呆症高齢者および家族をめぐる感情表出」平成 14 年度大阪府立大学大学院奨励研究報告書『社会福祉援助における新たな視点の探求』, 77-87, 2003.3

黒田研二 (研究代表者)：『痴呆性高齢者の感情表出反応評価方法の開発および感情表出に影響する因子に関する研究 (課題番号 13610217)』平成 13 年度～平成 15 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 研究成果報告書, 1-66, 2003.3

2004 年

黒田研二：「精神障害者のノーマライゼーションはどこまで進展したか」公衆衛生, 68 (2), 92-96, 2004.2

黒田研二：「精神病院から地域への移行をめざして」精神医療, 33, 62-75, 2004.2

黒田研二：「高齢者介護施設におけるサービス評価基準の開発 ― サービス内容と施設運営状況との関係 ―」社会問題研究, 53 (2), 27-42, 2004.3

黒田研二：「ホームレス者の医療ニーズと医療保障 ― 大阪市における高齢者特別清掃事業従事者健診結果より」大阪保険医雑誌, 32 (451), 36-40, 2004.7

高鳥毛敏雄・多田羅浩三・黒田研二・逢坂隆子：「救急搬送要保護傷病入院患者調査からみた保健医療システムの課題の検討」社会医学研究, 22, 1-12, 2004

逢坂隆子・黒田研二・高鳥毛敏雄・他：「ホームレス者の健康・生活実態より健康権を考える ― ホームレス者の生活習慣病対策からみた考察 ―」社会医学研究, 22, 41-50, 2004

黒川渡・黒田研二・逢坂隆子・他：「アウト・リーチ活動により認められた路上・公園・河川敷等野宿生活者の健康実態と医療・保健・福祉制度の課題」社会医学研究, 22, 51-61, 2004

黒田研二：「介護予防施策の概要と手法について ― 介護予防システムと介護保険制度 ―」日本老年医学会雑誌, 41 (6), 633-636, 2004.11

黒田研二 (主任研究者)：『厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業 ホームレス者の医療ニーズと医療保障システムのあり方に関する研究 平成 15 年度総括・分担研究報告書』, 1-131, 2004.3

黒田研二 (研究代表者)：『高齢者介護施設におけるサービスの質評価基準および評価方法の開発に関する研究 - 高齢者介護施設のサービスの質の向上にむけて -』平成 14・15 年度ニッセイ財団高齢社会福祉実践的研究助成報告書, 1-169, 2004.11

2005年

- 張允禎・黒田研二：「営利法人と非営利法人のホームヘルパーに関する比較」日本在宅ケア学会誌，9（1），39-45，2005.7
- Kuroda, K: Health Conditions of Homeless People in Osaka City, Japan. Papers of International Symposium on Population and Sustainable Development Strategy, 上海社会科学院出版社, 368-369, 2005
- 黒田研二：「健康政策からみたホームレス問題」都市問題研究，57（11），55-70，2005
- 黒田研二：「保健医療と社会福祉、およびその共通性—ホームレス健康調査から考える—」保健医療社会学論集，15（2），26-33，2005
- 黒田研二（主任研究者）：『厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業 ホームレス者の医療ニーズと医療保障システムのあり方に関する研究 平成16年度総括・分担研究報告書』，1-149，2005.3
- 黒田研二（検討会座長）：『平成16年度地域保健総合推進事業 ホームレスの健康支援活動に関する検討会報告書』（財）公衆衛生協会，1-194，2005.3

2006年

- 黒田研二：「ホームレス生活者に対する健康支援」公衆衛生，70（2），92-95，2006.2
- 黒田研二：「都道府県・指定都市別にみた地域福祉権利擁護事業の利用実績およびその関連要因」社会問題研究，55（2），31-43，2006.3
- 黒田研二・朝田隆・中谷真樹・井上新平：「精神科病院と当事者はそれぞれ公開すべき情報をどう捉えているか—アンケート調査結果の分析—」日本精神神経学雑誌，108，381-387，2006
- 黒田研二（主任研究者）：『ホームレス者の医療ニーズと医療保障システムのあり方に関する研究』平成15年度～平成17年度総合研究報告書，厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業，1-148，2006.3
- 黒田研二（主任研究者）：『ホームレス者の医療ニーズと医療保障システムのあり方に関する研究』平成17年度総括・分担報告書，厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業，1-128，2006.3
- 黒田研二・足立啓・坪山孝・佐瀬美恵子：「認知症高齢者ケア研修マニュアル—ユニットケアを志向して—」平成16-17年度厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と効果の多面的評価」（主任研究者：足立啓）刊行物，大阪府社会福祉協議会，2006.3
- 黒田研二（分担研究者）：「ホームレスの健康支援—健康実態と支援方策の検討」中山徹（研究代表者）『ホームレスの自立と地域生活支援に関する総合的調査研究』平成15年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究（B））課題番号：15330118）研究成果報告書，158-165，2006.5
- 白井みどり・黒田研二・他：「認知症高齢者の感情反応と行動に基づく個別的な生活環境評価とその効果」日本認知症ケア学会誌，5（3），457-470，2006.11

2007年

- 張允禎・黒田研二：「福祉施設における苦情解決体制」地域福祉研究，35，98-108，2007.3
- 長見紘平・黒田研二：「特別養護老人ホームにおける小規模ケアの実施と介護職員のストレスの関係」厚生指針，54（10），1-6，2007.9
- 張允禎・黒田研二：「ホームヘルパーの資質向上の意識に関する研究」日本在宅ケア学会誌，11

(1), 34-42, 2007.9

張允楨・長見紘平・黒田研二：「特別養護老人ホームにおける介護職員のストレスに関する研究 — 小規模ケア型施設と従来型施設の比較 —」老年社会科学, 29 (3), 366-374, 2007.10

金春男・黒田研二：「異文化に配慮した在日コリアン認知症高齢者の心理的支援 — 母国語によるアクティビティとしての回想法のこころみ —」日本認知症ケア学会誌, 6 (3), 512-523, 2007.11

黒田研二・朝田隆・井上新平・他：「精神科病院の情報公開と透明性に関する研究 大阪府における精神医療オンブズマン制度」厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業『精神医療に係る患者の利用実態や機能等の評価及びその結果の公表に関する研究』（主任研究者：吉住昭），平成16年度研究報告, 175-192, 2007.3

黒田研二・朝田隆：「精神科医療におけるこれからの情報公開」（第103回日本精神神経学会総会シンポジウム座長のまとめ）精神神経学雑誌, 109 (10), 925, 2007.10

2008年

鄭小華・黒田研二：「北京市高齢者の養老介護サービス利用希望およびその関連要因に関する研究」社会福祉学, 48 (4), 131-145, 2008.2

黒田研二：「ホームレスが抱える健康問題 疫学の視点から」JIM (Journal of Integrated Medicine), 18 (4), 292-295, 2008.4

張允楨・黒田研二：「特別養護老人ホームにおけるユニットケア導入と介護業務および介護環境に対する職員の意識との関連」社会福祉学, 49 (2), 85-96, 2008.8

張允楨・黒田研二：「特別養護老人ホームにおける介護職員の離職率に関する研究」厚生の指標, 55 (15), 16-23, 2008.12

金春男・黒田研二：「バイリンガルの認知症高齢者との母国語による個人回想法」老年社会科学, 30 (1), 27-39, 2008.

2009年

黒田研二：「特別養護老人ホーム介護職員の意識調査からみる職場環境の課題」ふれあいケア, 15 (1), 9-12, 2009.1

金高閏・黒田研二：「老人福祉施設における苦情解決システム — 「第三者委員」の役割の検討 —」老年社会科学, 30 (4), 489-497, 2009.1

黒田研二：「病院と地域をむすぶ多職種連携」日本在宅ケア学会誌, 13 (1), 5-12, 2009.6

黒田研二：「2008年度学会回顧と展望 保健・医療部門」社会福祉学, 50 (3), 192-205, 2009.11

水上然・黒田研二：「高齢者虐待防止における市町村の体制と分離保護について — 人口3万人以上の市町村への全国調査から —」社会福祉学, 50 (3), 66-77, 2009.11

黒田研二：「市町村高齢者虐待対応評価ガイドブック 高齢者虐待防止における評価体制の構築を目指して」大阪府受託研究『市町村高齢者虐待防止対策につながる方策の検討及び支援方法の開発』報告書, 1-63, 2009.3

2010年

水上然・黒田研二：「市町村における高齢者虐待防止ネットワーク構築への取り組みと実績」日本在宅ケア学会誌, 13 (2), 26-33, 2010.2

鄭小華・黒田研二：「中国都市部高齢者の日常生活機能低下に関連する要因 — 北京市と上海市の高齢者実態調査より —」社会福祉学, 51 (2), 83-95, 2010.9

- 黒田研二：「2009年度学会回顧と展望 保健・医療部門」社会福祉学, 51 (3), 230-243, 2010.11
- 黒田研二・山中京子・水上然：「医療ソーシャルワーカーの業務実態とその関連要因」社会問題研究, 59, 21-30, 2010.
- 黒田研二・水上然：「高齢者虐待防止における評価体制の構築 市町村の高齢者虐待防止対策の質的改善につながる方策の検証及び普及に関する研究報告書」(平成21年度大阪府委託研究報告書), 1-77, 2010.3

2011年

- 黒田研二・張允楨：「特別養護老人ホームにおける離職意向および離職率に関する研究」社会問題研究, 60, 15-25, 2011.1
- 金高閻・黒田研二・下菌誠・橋本恭子：「認知症の人に対する地域住民の態度とその関連要因」社会問題研究, 60, 49-62, 2011.1
- 黒田研二・金高閻・鄭小華・増井香奈子：「認知症の人に対する地域住民の受容的態度とその関連要因」社会問題研究, 60, 27-35, 2011.1
- 三谷伸次郎・黒田研二：「特別養護老人ホームにおける介護リーダーの行動と職員のモラルとの関連について」社会問題研究, 60, 105-117, 2011.1
- 水上然・黒田研二：「市町村における高齢者虐待防止体制を強化するための評価モデルの開発 — 相談通報全事例についての評価 (レビュー) を中心に —」社会問題研究, 60, 63-75, 2011.1
- 鄭小華・黒田研二・関川芳孝：「中国上海市と北京市におけるホームヘルプサービスの現状」海外社会保障研究, 174, 64-76, 2011.3
- 金高閻・鄭小華・増井香奈子・黒田研二：「認知症サポーター養成講座受講者における認知症受容度の追跡調査」認知症ケア学会誌, 10 (1), 88-96, 2011.4
- 黒田研二・水上然：「市町村の高齢者虐待防止対策の質的改善につながる人材育成システム構築等の方策の検証」, 平成22年度大阪府委託研究報告書, 1-61, 2011.3

2012年

- 黒田研二：「医療計画の見直しは精神科医療改革に寄与しうるか？」社会問題研究, 61, 1-13, 2012.1.
- 金高閻・黒田研二：「認知症の人に対する介護職員の態度とその関連要因」, 社会問題研究, 61, 101-112, 2012.1.
- Kenji Kuroda, Kim Koeun: Attitudes to dementia: Comparison between local community members and care staff. Proceeding of 9th World Conference of Long Term Care in Chinese Communities, p246-257, 2012.1
- 黒田研二：「医療法に基づく医療計画策定と地域精神科医療改革」精神医学, 54 (10), 977-982, 2012.10

2013年

- 渡辺晴子・佐瀬美恵子・黒田研二：「保健・医療・福祉の現場を訪ねる — 出雲市」地域福祉研究, 41, 149-164, 2013.3
- 黒田研二・水上然・森岡朋子・室谷牧子・田中園代・佐瀬美恵子：「地域包括支援センターと諸機関の連携による認知症支援に関する研究」大阪ガスグループ福祉財団調査・研究報告集, 26, 123-129, 2013

2014年

- 黒田研二：「大都市における高齢者の在宅ケア 現状と課題」公衆衛生, 78 (9), 612-618, 2014.9
 黒田研二：「大阪の在宅医療をめぐる現状と課題」大阪保険医雑誌, NO.570, 4-9, 2014.3
 渡辺晴子・黒田研二・上野谷加代子：「保健・医療・福祉の現場を訪ねる — 東近江市」地域福祉研究, 42, 170-184, 2014.3

2015年

- 黒田研二：「高齢者の人権について：権利を守るための仕組みと地域包括ケアを中心に」ヒューマンライツ, (308), 2-10, 2013.11
 水上然・佐瀬美恵子・黒田研二：「地域包括支援センターに勤務する専門職の認知症支援における特徴と課題」神戸学院総合リハビリテーション研究, 10 (2), 15-25, 2015.3
 水上然・黒田研二・佐瀬美恵子・森岡朋子・室谷牧子・田中園代：「地域包括支援センター職員の認知症支援業務の実施状況と認知症に関連する知識との関連」日本認知症ケア学会誌, 14 (3), 667-678, 2015
 隅田好美・水上然・黒田研二：「認知症の人の支援と支援困難感 — 大分県内の地域包括支援センターへの調査より —」福祉社会科学 (大分大学紀要), 5, 95-110, 2015
 渡辺晴子・黒田研二・木下幹朗：「保健・医療・福祉の現場を訪ねる — 尾道市」地域福祉研究, 43, 110-122, 2015.3

2016年

- 隅田好美・黒田研二・水上然：「地域包括支援センターにおける認知症の人と家族の支援およびその関連要因」社会福祉学, 57 (1), 1-13, 2016
 黒田研二：「保健・医療・福祉が進める地域づくり」地域福祉研究, 44, 2-12, 2016.3
 永田祐・渡辺晴子・黒田研二・木下幹朗・山本香織：「保健・医療・福祉の現場を訪ねる — 名張市」地域福祉研究, 44, 147-160, 2016.3
 黒田研二・岩成秀夫・太田順一郎・他：「都道府県による精神疾患の医療計画に関する分析と提言」精神神経学雑誌, 118 (4), 199-211, 2016.4

2017年

- 吉野亮子・黒田研二：「鍼灸師による介護予防運動支援の取り組み：介護予防運動指導員養成講座受講者への調査より」全日本鍼灸学会雑誌, 67 (4), 340-348, 2017.11
 黒田研二・佐瀬美恵子・渡辺晴子・木下幹朗：「保健・医療・福祉の現場を訪ねる：宝塚市」地域福祉研究, 45, 105-120, 2017
 吉野亮子・黒田研二：「鍼灸師による介護予防運動支援の取り組み：介護予防運動指導員養成講座受講者への調査より」全日本鍼灸学会雑誌, 67 (4), 340-348, 2017
 高井逸史・高木さひろ・黒田研二：「住民が運営する介護予防取組の現状と課題：～自治会、NPO法人へのインタビュー調査から～」理学療法学 Supplement, 2016, 1408, 2017

2018年

- 松下啓子・黒田研二：「自治体による市民後見人養成の現状と問題点：市民後見推進事業を実施した自治体に対する質問紙調査の結果から」厚生学の指標, 65 (12), 36-43, 2018.10
 森岡朋子・黒田研二：「認知症地域支援業務を推進する要因：レジリエンス・燃え尽き・ネットワークに注目して」人間健康研究科論集, 1, 65-82, 2018.3
 室谷牧子・佐瀬美恵子・外堀佳代・黒田研二：「多職種事例検討会における支援困難事例の分析：

学際的アセスメントとストレングスに配慮した課題解決策」人間健康研究科論集, 1, 3-28, 2018.3

高井逸史・高木さひろ・黒田研二：「介護予防と生活支援の観点からみた自治会互助活動の現状」総合リハビリテーション, 46 (3), 275-279, 2018.3

渡辺晴子・黒田研二・牧里毎治・木下幹朗：「現場を訪ねる 保健・医療・福祉の現場を訪ねる：茨木市」地域福祉研究, 46, 132-146, 2018

森岡朋子・黒田研二・橋田弓子・大平夕子：「認知症ライフサポート研修受講による「認知症支援意識」の変化について：事前・事後の質問紙調査から」日本認知症ケア学会誌, 16 (4), 791-801, 2018

高木さひろ・黒田研二・今津弘子・他：「在宅医療・介護連携の現状と展望：堺市における関係機関9領域に対する質問紙調査」人間健康学研究, 11, 1-13, 2018

原政代・黒田研二：「生活保護現業員の仕事のやりがい感に関連する要因」人間健康学研究, 11, 15-23, 2018

2019年

北本さゆり・黒田研二：「データから見た息子介護者の社会的背景」人間健康研究科論集, 2, 1-22, 2019

高木さひろ・黒田研二・今津弘子・他：「子育て負担感とソーシャルサポートとの関連：堺市における実態調査より」人間健康学研究, 12, 1-13, 2019

北本さゆり・黒田研二：「息子が母親を介護する際の心理的プロセス」社会福祉学, 60 (2), 91-109, 2019

黒田研二・渡辺晴子・木下幹朗・上野谷加代子：「保健・医療・福祉の現場を訪ねる：明石市」地域福祉研究, 47, 123-136, 2019

森久栄・黒田研二：「乳児院、児童養護施設における食物アレルギー児の在籍状況および給食対応の実態：ガイドライン・マニュアルの有無別の比較」日本公衆衛生雑誌, 66 (3), 138-150, 2019

原政代・黒田研二：「生活保護受給者の健康支援：ニーズに関するレビューと支援体制の検討」人間健康学研究, 12, 15-28, 2019

2011年以降で参加した国際学会及び報告テーマ

KIM Koeun, KURODA Kenji: People's attitudes towards persons with dementia (Part 1): A survey of care staff in special nursing homes for the elderly. 21st Asia-pacific Social Work Conference. July 15-18, 2011, Waseda University, Japan

KURODA Kenji, KIM Koeun: People's attitudes towards persons with dementia (Part 2): Comparison between community lay people and care staff. 21st Asia-pacific Social Work Conference. July 15-18, 2011, Waseda University, Japan

日中合作 超高齢社会における医療・保健・福祉の戦略準備 ― 日本の実践報告会。

司会：桂世勳 演者：黒田研二, 西垣千春, 趙林

場所：華東師範大学 上海, 2012年11月7日

KURODA Kenji, KIM Koeun: Attitudes to dementia: Comparison between local community members and care staff. 9th World Congress on Long Term Care in Chinese Communities. Nov. 8-9, 2012, 杭州師

範大学

- KURODA Kenji, MIZUGAMI Tsuzuru: Comparison of reported cases of elder abuse in South Korea and Japan. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics. June 23-27, 2013, Seoul, Korea
- KURODA Kenji, Zhao Lin, KIM Koun: Attitudes of care staff towards dementia: Comparison between Dalian, China and Osaka, Japan. 10th World Congress on Long Term Care in Chinese Communities. Oct. 24-26, 2013, Macao, China
- KURODA Kenji, MIZUGAMI Tsuzuru, KIM Koeun, JANG Yunjeong: Collaboration by Community Comprehensive Support Centers to Support People with Dementia. SWSD (The Joint World Conference on Social Work, Education and Social Development). 9-12 July, 2014, Melbourne, Victoria, Australia
- KURODA Kenji, JANG Yunjeong, MIZUGAMI Tsuzuru: Comparing Long-term Care Insurance Performance in South Korea and Japan. SWSD (The Joint World Conference on Social Work, Education and Social Development). June 27-30, 2016, Seoul, Korea
- TAKAGI Sahiro, KURODA Kenji: The Importance of Social Support in Child Rearing. SWSD (The Joint World Conference on Social Work, Education and Social Development). July 4-7, 2018, Dublin, Ireland